

# 令和5年度補正 品目団体輸出力強化緊急支援事業

## 台湾におけるメロンのプロモーション 及び市場調査

静岡県温室農業協同組合  
クラウンメロン支所

# A:台湾、メロン（クラウンメロン）

出張期間 2024年5月11日から13日

## 出張行程

月日	時間	場所	内容	備考
5/11（土）	午前 9:40	羽田 → 台北	出発	NH851便
	午後 12:10	台北着（松山空港）	到着	
	午後	微風広場	クラウンメロンフェア（試食販売）	
5/12（日）	終日	微風広場	クラウンメロンフェア（試食販売）	
5/13（月）	午前	台北市内	市場視察	
	午後 1:35	台北 → 羽田	出発	NH852便
	午後 5:45	羽田空港	帰国	

# A:台湾、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2024年5月11日から13日）

- 1 クラウンメロンの販路拡大のための商談及び現地プロモーション
  - ・台北市内の高級百貨店「微風広場（Breeze Center）」において、母の日に合わせたクラウンメロンの販促を実施した。店舗入り口付近に特設売り場を設置し、試食宣伝を併せて実施した。母の日の週末2日間で45玉を販売した。
  - ・本販促の実施においては、東京青果(株)、大田市場の仲買事業者及び現地のディストリビューターと連携し、市場流通を介した台湾への輸出拡大を目指して実施した。事前の打ち合わせによりメロンの規格や数量をはっきりさせ、規制の厳しい台湾向けにおいて問題なく輸出することができた。



# B:台湾、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2024年5月11日から13日）

## 2 台湾（台北）での市場調査

- ・ 現地の高級スーパーでは、クラウンメロンの他、日本産のメロン、ブドウ、モモ、甘藷等が販売されていた。一方、台湾産と表記のあるアールスメロン、巨峰、シャインマスカット、モモ等も、日本産と比べ非常に安い価格で販売されている。
- ・ メロンについて、台湾向けには厳しい残留農薬基準が定められているが、メロンは皮ごと食べないことから、現地消費者はメロンについては農薬に関してあまり気にしていない様子だった。



写真左：  
現地高級スーパーの青果売場  
様々な日本産の青果物が置かれて  
いる

写真右：  
クラウンメロンと非常に似た  
パッケージで販売されている  
台湾産のメロン

# C:台湾、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2024年5月11日から13日）

## 3 台湾事業総括

- 今回販促フェアを実施した微風広場は富裕層の客が多く、一度に数玉クラウンメロンを購入される方も多くいた。一方で、やはり現地のフルーツと比べると価格が非常に高く、美味しいけれども手が届かないという反応も多く見られた。試食の反応は総じて非常に高評価であった。
- 今回、富裕層を中心に現地での確固たる需要があることがわかった。ある程度のまとまった数量を継続的に輸出できる流れが出来れば、現地での価格競争力も増し、更なる輸出の拡大が期待できる。ただし、残留農薬の規制が強化されつつある台湾については、輸出入業者も慎重な姿勢であったことから、産地として引き続き現地の残留農薬基準を順守する防除体系を継続し、良好な関係を継続していきたい。